

群弓連だより

第 8 2 号

平成20年1月31日

群馬県弓道連盟

発行人 須田 定雄



新年を迎えてのご挨拶

会長 須田 定雄

会員の皆様新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え旧年の経過と新年度の目標を掲げてご挨拶と致します。

昨年四月より県連会長をお引き受けして早々に副会長の辞任があり、不穏な幕開けとなりましたが、役員皆様の絶大な協力を得て十二月まで何とか過ごすことが出来ました。

当初、出来るかぎり若手の教士の皆様に役員として協力を頂くべく声をかけましたが、五十代で引き受けてほしい人達は仕事の現職で管理職であったり役職として責任ある立場の方々で、中々県連役員として入っていただくことが出来ませんでした。従って部会の主たる委員も掛持ちで御願いすることとなり誠に申し訳なく思います。特に若手の七段の皆様には指導、審査等フルに活躍してもらおうこととなっており、九ヶ月を経過し、任期中間ながら四月から一部役員及びその担当の見直しを役員会に諮り決めて行くつもりであります。また、これからの問題は、私自身が全弓連の理事として多くの仕事を仰せ付かっており留守ばかりで、役員の皆様に諸々をお願いせざるを得ないことが大きな要因であることも充分自覚致しております。

さて、今年の目標は、審査の統一(審査規程に基づき審査)、競技システムの完成、県内書類のメール化(理事長他の事務費の軽減)、会計の財務内容の改善(収支の内容の検討)県連レベルの向上(競技・審査共)等、改善すべきこと、新たに手をつけるべきことが沢山ありますが、一重に会員皆様の理解と役員の皆様の絶大な協力なくしては出来ません。論語に「賢を見ては齊(ひと)しからんことを思い、不賢を見ては、内に自ら省みるなり(賢人を見れば自分も同じような優れた人になろうと努力し、つまらない人を見れば自分もそういう短所がないかと自ら反省すべきである)私を含め群弓連会員全体がこの論語に従うべき心を持つならば全国に誇れる地連となるでしょう。

目標に向けて会員皆様に充分な理解と御協力を賜り、群馬県弓道連盟が一步でも二歩でも前進できます様努力する所存でありますので、本年もよろしくお願いを申し上げ新年の御挨拶と致します。

部 会 報 告

☆ 女子部部会 ☆

§ § 女子部講習会 12月1日 高崎市弓道場

講 師 小宮栄子範士 参加者 35名

講習内容 午前・講習生による矢渡し

講評や注意点なども講習生が担当する。
(不足箇所や注意点など小宮先生の指導あり)

- ・ 一手行射(審査の間合い)
- 午後・射技研修
- ・ 射技に於ける注意点の説明
- ・ 仕上げの一手



※思っていたより暖かい日で講習会日和でした。

小宮先生には休憩時間もあまり取らずに、歩き方や襷さばきなど基本の見直しを中心に指導していただきました。参加した講習生にとっては有意義な一日を過ごすことが出来たことと思います。

☆ 審査関係 ☆

∥ 関東地区錬士臨時中央審査 11月18日

受審者数 526名 県内受審者 59名

(ぐんま武道館弓道場264名 ・ 高崎市営弓道場262名)

一次通過者 48名 (県内 8名) ・ 二次合格者 24名 (県内 4名)

学科問題

- ☆ 弓の抵抗力について述べよ。(共通問題)
- ◎ 弓道修練の眼目について述べよ。
- ◎ 押し引き一如の原則について述べよ。
- ◎ 射礼の精神と意義について述べよ。
- ◎ 足踏みと引き分けの関連性について述べよ。

∥ 第三次地方審査(高校生) 10月28日 ぐんま武道館弓道場

受審者数 240名

合格者 ・ 査定 1級121名・初段42名 ・ 初段2名・二段13名 ・ 三段1名

学科問題

〔初段〕

- ・ 射法八節を列記し「足踏み」について述べよ。
- ・ 弓道を始めて感じた事を述べよ。

〔二段〕

- ・ 射法八節を列記し「胴造り」について述べよ。
- ・ 弓道を学んで良かったと思う事を述べよ。

〔三段〕

- ・ 打ち起こしの要点について述べよ。
- ・ 弓道修練で貴方が苦勞する点について述べよ。

大会記録

県内大会

◇第45回 群馬県民体育大会秋季大会

11月11日

○大会結果 市の部

会場 ぐんま武道館弓道場



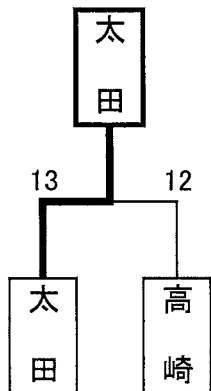
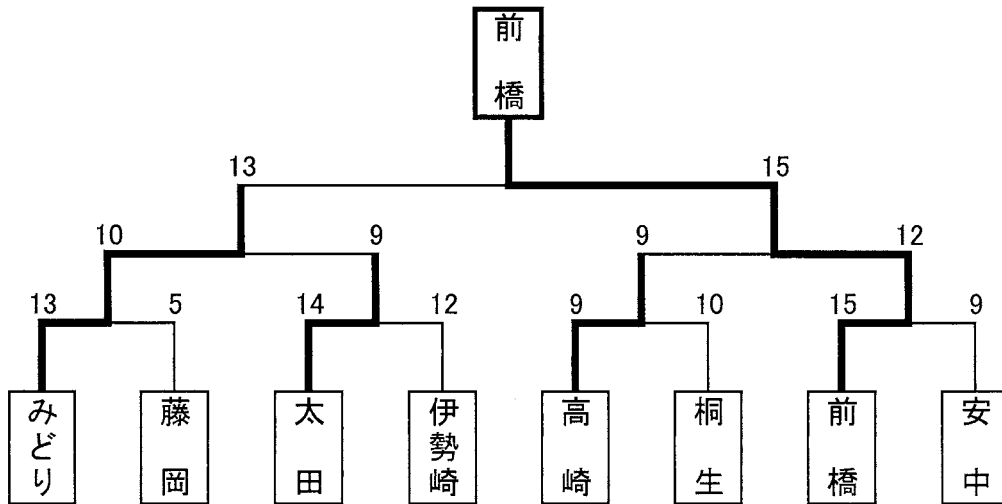
優勝 前橋市
監督 勅使川原
選手 山崎・鶴川・森
高橋・荒木



準優勝 みどり市
監督 中島(博)
選手 園田・本橋・高瀬
伏島・中島(亨)



第三位 太田市
監督 柏瀬
選手 金山・中村・富岡
東山・塚本



| | | |
|----|------|-----|
| 順位 | 優勝 | 前橋 |
| | 準優勝 | みどり |
| | 第三位 | 太田 |
| | 第四位 | 高崎 |
| | 第五位 | 伊勢崎 |
| | 第六位 | 安中 |
| | 第七位 | 桐生 |
| | 第八位 | 藤岡 |
| | 第九位 | 富岡 |
| | 第十位 | 沼田 |
| | 第十一位 | 館林 |
| | 第十二位 | 渋川 |

○大会結果 郡の部

会場

高崎市弓道場



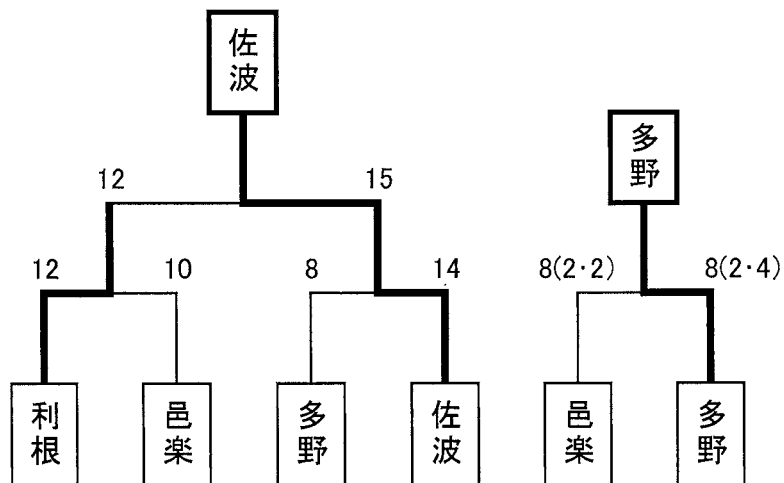
優勝 佐波郡
監督 原田
選手 坂本・砂川・羽鳥
佐立・森



準優勝 利根郡
監督 原澤
選手 高橋(将)・高橋(勇)
吉沢・戸丸・中島



第三位 多野郡
監督 堀越(兼)
選手 堀越・斉藤・砂川
川合・宮田



| 順位 | |
|-----|----|
| 優勝 | 佐波 |
| 準優勝 | 利根 |
| 第3位 | 多野 |
| 第4位 | 邑楽 |
| 第5位 | 甘楽 |
| 第6位 | 吾妻 |
| 第7位 | 勢多 |



◇県連納射会

12月2日 ぐんま武道館弓道場

参加人数 総数140名 称号47名 四・五段49名 参段以下44名 8射

☆最高の中賞 田中 義裕 選手

○大会結果

| ☆ 参段以下の部 ☆ | | | |
|------------|-------|------|----|
| 1 | 廣神 貴之 | 榛名 | 7中 |
| 2 | 阿久澤裕也 | 伊勢崎 | 6中 |
| 3 | 赤石 清志 | 境 | 6中 |
| 4 | 塚越 千春 | 榛名 | 6中 |
| 5 | 橋本 幸男 | 伊勢崎 | 5中 |
| 6 | 神山 清子 | 邑楽館林 | 5中 |

| ☆ 四・五段の部 ☆ | | | |
|------------|-------|------|----|
| 1 | 中島 博志 | みどり | 6中 |
| 2 | 星 和夫 | 安中 | 6中 |
| 3 | 笠原 郁子 | 前橋 | 6中 |
| 4 | 廣神 芳夫 | 安中 | 6中 |
| 5 | 小林 宏治 | 利根沼田 | 6中 |
| 6 | 篠原 淳一 | 吾妻 | 5中 |

| ☆ 称号の部 ☆ | | | |
|----------|-------|-----|----|
| 1 | 田中 義裕 | 富岡 | 7中 |
| 2 | 小野里和也 | 伊勢崎 | 6中 |
| 3 | 今井 誠一 | 榛名 | 6中 |
| 4 | 金井 義則 | 安中 | 6中 |
| 5 | 名雪 篤一 | 前橋 | 5中 |
| 6 | 桑原 豊 | 高崎 | 5中 |

| | | | |
|----|-------|-----|----|
| 7 | 坂井 勇介 | 桐 生 | 5中 |
| 8 | 須永 明 | 藤 岡 | 5中 |
| 9 | 清水 廣輝 | 安 中 | 5中 |
| 10 | 福田 昭二 | 前 橋 | 4中 |

| | | | |
|----|-------|-----|----|
| 7 | 園田 賢二 | みどり | 5中 |
| 8 | 古尾谷 茂 | 安 中 | 5中 |
| 9 | 金古 悦子 | 高 崎 | 5中 |
| 10 | 高橋久美子 | 藤 岡 | 5中 |

| | | | |
|----|-------|------|----|
| 7 | 鈴木 康弘 | 高 崎 | 5中 |
| 8 | 高橋 香内 | 前 橋 | 5中 |
| 9 | 金井喜四男 | 利根沼田 | 5中 |
| 10 | 青木 五夫 | 高 崎 | 5中 |

☆ 優勝～第三位 入賞者



三段以下の部



四五段の部



称号の部

◇県連初射会

1月6日 くま武道館弓道場

参加人数 総数140名 称号47名 四・五段49名 参段以下44名 6射

☆ 射道優秀賞 参段以下 堀井 孝之(利根沼田) ・ 四・五段 石川 忠弘(太田)

○大会結果

| ☆ 参段以下の部 ☆ | | | |
|------------|-------|------|----|
| 1 | 静野 忠雄 | 高 崎 | 5中 |
| 2 | 宮下 昭彦 | 藤 岡 | 5中 |
| 3 | 横堀 智美 | 伊勢崎 | 4中 |
| 4 | 斉藤 久 | 邑楽館林 | 4中 |
| 5 | 田口 知美 | 伊勢崎 | 3中 |
| 6 | 赤石 知代 | 境 | 3中 |
| 7 | 栗原 貞助 | 藤 岡 | 3中 |
| 8 | 多胡 好美 | 榛 名 | 3中 |
| 9 | 福田 昭二 | 前 橋 | 3中 |
| 10 | 山口 峰夫 | 甘 楽 | 3中 |

| ☆ 四・五段の部 ☆ | | | |
|------------|-------|------|----|
| 1 | 六本木 保 | 前 橋 | 5中 |
| 2 | 関 武雄 | 利根沼田 | 4中 |
| 3 | 石川 忠弘 | 太 田 | 4中 |
| 4 | 武井美栄子 | 渋 川 | 4中 |
| 5 | 星 和夫 | 安 中 | 4中 |
| 6 | 小林とし子 | 桐 生 | 4中 |
| 7 | 今 晃 | 伊勢崎 | 4中 |
| 8 | 小林 宏治 | 利根沼田 | 4中 |
| 9 | 小渕 弘之 | 吾 妻 | 4中 |
| 10 | 安部 淳子 | 伊勢崎 | 4中 |

| ☆ 称号の部 ☆ | | | |
|----------|-------|-----|----|
| 1 | 眞下 眞弓 | 伊勢崎 | 5中 |
| 2 | 森田 修一 | 北 橋 | 5中 |
| 3 | 田中 義裕 | 富 岡 | 5中 |
| 4 | 飯塚 哲夫 | 渋 川 | 5中 |
| 5 | 設楽 優子 | 前 橋 | 4中 |
| 6 | 高橋ゆかり | 前 橋 | 4中 |
| 7 | 高橋 香内 | 前 橋 | 4中 |
| 8 | 三塚 宇善 | あずま | 4中 |
| 9 | 鈴木 康弘 | 高 崎 | 4中 |
| 10 | 相川 明美 | 安 中 | 4中 |



各部入賞者



射道優秀者



須田会長 矢渡し

高体連大会

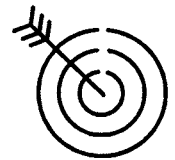
◇県高等大会学校弓道新人大会(兼)第26回全国高校弓道大会県予選会 11月24日

(男子)前橋市民体育館弓道場 (女子)ぐんま武道館弓道場

参加人数 男子 40校 273名 女子 38校 258名
 競技方法 団体戦は各校男女3名2チームまで出場
 予選各自8射 計24射で上位12チームを通過とする。
 決勝各自8射 計24射と予選の成績を合計して順位を決定

○団体戦

男子 優勝 高北B (中島2年 相川2年 後藤2年 田中1年)
 準優勝 利商B (片野2年 安部2年 須田2年 田村2年)
 第3位 前市高A (出久地2年 黒澤2年 下田2年 湯浅2年)
 女子 優勝 利商B (巻口2年 八木2年 真庭2年)
 準優勝 樹徳A (村上2年 鈴木1年 小野1年 田中1年)
 第3位 前市高A (千木良1年 織田2年 木暮2年 剣持2年)



○個人戦

| 男子 | | | | | |
|----|-----|----|-------|----|---|
| 1 | 徳江 | 友彬 | 伊工2年 | 7中 | ○ |
| 2 | 中島 | 玲 | 高北2年 | 7中 | × |
| 3 | 下田 | 貴之 | 高北2年 | 7中 | × |
| 4 | 南雲 | 政彦 | 健大高2年 | 7中 | × |
| 5 | 出久地 | 旭 | 前市高2年 | 6中 | |

| 女子 | | | |
|-----|-----|-------|----|
| 鈴木 | 侑未 | 樹徳1年 | 7中 |
| 村上 | 麻衣 | 樹徳2年 | 6中 |
| 堤 | 麻里奈 | 渋女2年 | 6中 |
| 千木良 | 咲季 | 前市高1年 | 6中 |
| 原田 | 三嘉子 | 高女2年 | 6中 |

※ 団体戦・個人戦における優勝チーム・優勝者は、3月28日～30日に明治神宮至誠館第二弓道場で開催される第24回全国高校選抜弓道大会に出場する。

◇平成19年度 第7回 東日本高等学校弓道大会

1. 期日 平成19年12月21日(金)～23日(日)
2. 会場 岩手県営武道館大道場特設弓道場
3. 参加数 男子20都道府県43校 女子19都道府県42校

成績

◎5人制の部

男子予選 清明 10中 通過
 高北 12中 // (予選通過は27チームで9中競射3/10)
 女子予選 前市高 8中 競射3 通過
 高女 8中 競射2 // (予選通過は8中競射7/9)

男子決勝トーナメント(3校より1校の勝ち上がり)

- 1回戦 清明6, 横浜市立南(神奈川)8, 大館工業(秋田)8
 高北11, 天塩(北海道)13, 葦崎(山梨)13

女子決勝トーナメント

- 1回戦 高女5, 八戸北(青森)14, 慶應義塾女子(東京)10
 前市高11, 宇都宮南(栃木)10, 泉松陵(宮城)9
 2回戦 前市高11, 鎌倉女子大(神奈川)11, 八戸北(青森)10
 (競射 4 2)
 決勝戦 前市高10, 作新学院(栃木)8, 飯田女子(長野)13

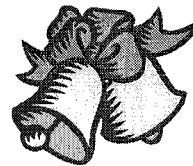
☆ 前市高は準優勝

◎ 3人制の部

男子予選 清明 5中 予選落ち
高北 7中 予選落ち (予選通過は16チームで8中競射4/8)
女子予選 前市高 6中 競射3 通過
高女 7中 通過 (予選通過は6中競射2/10)

女子決勝トーナメント

1回戦 高女 5 - 5 飯田女子 (長野)
(競射 1-2)
前市高 7 - 6 土浦第一 (茨城)
2回戦 前市高 12 - 9 頌栄女子学院 (東京)
準決勝 前市高 5 - 9 八戸北 (青森)



☆ 前市高は3位入賞



昇段昇格者

☆〔関東地区〕臨時中央審査☆

錬士 吉田 巖 (高崎)
茂木 照男 (渋川)
小林 章成 (太田)
本田 君子 (伊勢崎)

☆〔東京〕定期中央審査☆

六段 名雪 篤一 (前橋)
岩本 ふさ子 (太田)
澁木 進 (桐生)
教士 近藤 清宏 (安中)

☆〔東京〕特別臨時審査☆

錬士 森 崇宣 (前橋)
尾池 とみ子 (みどり)
鈴木 のり子 (高崎)
教士 上野 信勝 (新里)

支部だより



太田支部

連絡員 広瀬 浩

- ◆10月例射会 10月13日 太田市武道館弓道場 参加者30名
○三部制 10射 ☆参段以下 ①村井大輔7中②池田孝之7中③梶川雅史6中
☆四・五段 ①中村民雄8中②中平正彦7中③広瀬浩6中
☆称号 ①東山武美5中②梶原充吾5中③岩本ふさ子5中
- ◆11月例射会 11月18日 太田市武道館弓道場 参加者29名
○三部制 10射 ☆参段以下 ①郷信一7中②井出直子7中③池田孝之5中
☆四・五段 ①中平正彦8中②増田浩子8中③小俣充7中
☆称号 ①遠藤久雄7中②梶原充吾6中③東山武美5中
- ◆12月例射会 12月16日 太田市武道館弓道場 参加者40名
○三部制 8射 ☆参段以下 ①藤林路浩5中②池田孝之5中③渡辺純4中
☆四・五段 ①中村民雄6中②中平正彦6中③佐藤識夫6中
☆称号 ①小林章成5中②富岡武文5中③岩本敬一5中



桐生支部

連絡員 神戸 信吉

- ◆11月例射会 11月23日 桐生市弓道場 参加者40名(高校生12名)
今年度六段に昇段された小屋美ち子・渋木進両先生と錬士に昇格された青柳純江・山田武
広両先生の祝射会を兼ねて行われましたが他の会議が重なり、また学生も期末試験を間近に控
えて総勢40名という若干寂しい例会となりました。
しかし、答礼射では四名の先生方が息合い揃った充実した素晴らしい一つの射礼を行い、感
動の拍手を浴びました。例会は厳しい寒さの中で若手の活躍が目立ち堀越勉選手がただ一人8
中で総合優勝を飾りまた、射詰競技では六段に昇段された小屋美ち子選手が答礼射・10射競
技の疲れを克服して見事優勝いたしました。
成績は次のとおり
○三部制 10射 ★総合優勝 堀越 勉 8中
☆ 参段以下①堀越勉8中②植竹瑞貴7中(樹徳)③堀越富美男7中
④小岩井悠平5中(樹徳)⑤船戸敏夫4中
☆四・五段①馬場芳雄7中②小林とし子3中③斉藤裕3中④糸日利行3中⑤前原清美2中
☆称号 ①小又秀雄7中②青柳純江7中③肥塚正雄6中④小屋美ち子5中
○射詰の部 ①小屋美ち子②久保田充治③小岩井悠平

- ◆12月例射会 12月16日 桐生市弓道場 参加者28名(高校生4名)
年末の忙しい中、年間を通じて最も少ない参加者でしたが、称号者の活躍で前半は素晴らし
い中りをみせ、後半強風に悩まされて的中数の減少となるも一般会員の平均的中率は43%と
高率となりました。

成績は次のとおり

- 三部制 10射 ★総合優勝 小林 詔一 9中 (本年度3回目)
☆参段以下①丹羽義一6中②堀越富美男5中③新井伸司4中④久保田充治4中⑤小暮啓太2中 (桐高)
☆四・五段①堀越勉6中②小林とし子5中③馬場芳雄4中④田口武司4中
☆称号 ①小林詔一9中②小屋美ち子7中③河島勇吉7中④鹿木良満6中⑤肥塚正雄6中
○射詰の部 ①丹羽義一(本年度3回目)②馬場芳雄③船戸敏夫

◆1月例射会 1月13日 桐生市弓道場 参加者30名(高校生4名)

強風で厳しい射会にも関わらず8中者が3名で優勝を争う充実した展開となりました。この中で樹徳高校二年生の上道選手が称号の鹿木五段・参段の坂井選手を抑えての優勝は天晴れでありまた、勝ち抜き戦の射詰め競技においても樹徳高校の小岩井選手が30人中堂々の二位に入賞して高校生パワーを見せつける素晴らしい新年射会となりました。



成績は次のとおり

- 三部制 10射 ★総合優勝 上道 正裕 8中 (樹徳高校)
☆参段以下①上道正裕8中②坂井勇介8中③小岩井悠平6中④丹羽義一6中⑤堀越富美男5中
☆四・五段①久保悦朗6中②堀越勉5中③馬場芳雄4中④田口武司3中
☆称号 ①鹿木良満8中②肥塚正雄6中③小屋美ち子5中④中里孝一4中⑤小林詔一4中
○射詰の部 ①丹羽義一②小岩井悠平③堀越勉



境支部

連絡員 木村あい子

◆産業祭射会 11月18日 伊勢崎市境弓道場 参加者11名 10射

- ①荻井紘5中②茂木明4中③清水康弘4中④徳橋恭平3中⑤辻政弘3中

◆納射会 12月23日 伊勢崎市境弓道場 参加者21名 10射

- ①赤石清志7中②赤石知代7中③井口学5中④田代好伊5中⑤荻井紘4中



佐波あずま支部

連絡員 吉田むつみ

◆10月例射会 10月14日 あずま弓道場 参加者25名 10射

- ①徳江友彬9中②小林稔9中③石田悟8中④内田桂輔6中⑤久保田良健5中

◆11月例射会 11月18日 あずま弓道場 参加者20名 10射

- ①石田悟8中②新井早苗7中③徳江友彬7中④久保田良健6中⑤柴野峰雄6中

◆納射会 12月9日 あずま弓道場 参加者26名 10射

- ①三塚宇善7中②石田悟6中③雨宮巧5中④小此木良江5中⑤小屋美ち子4中

◆108射会 12月31日 あずま弓道場

参加者21名 完射17名

◆元旦射会 1月1日 あずま弓道場 一手祝射

※金的 天賞 足尾 勇輝(小学5年) 地賞 高橋 静夫





高崎支部

連絡員 青木 五夫

◆19年納射会 昇段・昇格者祝射会 12月9日 高崎市弓道場 参加者37名

○三部制 10射

☆総合 ①鈴木康弘 8中 ②金古隆栄 6中 ③藤原英樹 6中

☆参段以下 ①松永洋一 6中 ②佐藤利光 6中 ③小泉雅裕 6中 ④静野忠雄 5中 ⑤萩原深雪 5中

☆四・五段 ①金古隆栄 6中 ②藤原英樹 6中 ③高橋瑛 5中 ④金古悦子 4中 ⑤渋沢明 3中

☆称号 ①鈴木康弘 8中 ②青木五夫 6中 ③桑原 豊 6中 ④近藤清宏 5中 ⑤後藤勇 5中

○金的 萩原 深雪 松永 洋一

◆20年初射会 1月13日 高崎市弓道場 参加者34名

○三部制 10射

☆総合 ①金古悦子 8中 ②鈴木康弘 7中 ③小林敏勝 7中

☆参段以下 ①佐藤利光 4中 ②松永洋一 4中 ③奥村友昭 4中 ④田島恵理 4中 ⑤萩原深雪 4中

☆四・五段 ①金古悦子 8中 ②小林敏勝 7中 ③金古隆栄 5中 ④渋沢明 5中 ⑤工藤美知子 4中

☆称号 ①鈴木康弘 7中 ②桑原 豊 5中 ③田中利男 5中 ④吉田巖 4中 ⑤青木五夫 4中



榛名支部

支部長 今井 誠一

◆例射会 20射

| 10月 | | |
|-----|--------|-----|
| 1位 | 今井 誠一 | 14中 |
| 2位 | 小坂橋 朝夫 | 11中 |
| 3位 | 金古 隆栄 | 11中 |
| 4位 | 廣神 芳夫 | 10中 |
| 4位 | 五十嵐 貫市 | 10中 |
| 6位 | 佐藤 真理子 | 9中 |

| 11月 | | |
|-----|--------|-----|
| 1位 | 廣神 芳夫 | 16中 |
| 2位 | 今井 誠一 | 14中 |
| 3位 | 小坂橋 朝夫 | 9中 |
| 4位 | 富沢 美和恵 | 8中 |
| 5位 | 塚越 千春 | 6中 |
| 5位 | 湯浅 慧子 | 6中 |

| 12月 | | |
|-----|--------|-----|
| 1位 | 今井 誠一 | 16中 |
| 2位 | 金古 隆栄 | 13中 |
| 3位 | 小坂橋 朝夫 | 9中 |
| 4位 | 大澤 愛子 | 8中 |
| 4位 | 廣神 芳夫 | 8中 |
| 6位 | 佐藤 真理子 | 6中 |

◆108射会

12月23日

| | | | | | |
|-------|-----|-------|-----|--------|-----|
| 今井 誠一 | 89中 | 金古 隆栄 | 73中 | 小坂橋 朝夫 | 59中 |
| 廣神 芳夫 | 57中 | 塚越 千春 | 39中 | 佐藤 真理子 | 31中 |

◆交流親善射会を開催

10月27日

東京の東久留米市と旧榛名町は姉妹都市として長年友好を深めてまいりました。平成12年に東久留米市に弓道場が完成したのを機に交流射会を開催し、1年ごとに行ったり来たりで今年は榛名の弓道場で開催されました。

団体戦のみで、両チームの上位6名(1人20射)の合計的中数で勝ち負けを

決定します。今年は65中对57中で榛名が勝ち、通産成績6対2となり今のところ榛名が勝ち越しています。



前橋支部

◆納射会 12月24日 和楽館布施弓道場

弦供養を行った後、支部の射会を行いました。心配していた雨も止み時折覗かせる青空の下、普段の倍の参加人数(60名)で終始和やかに射会が行われました。射会の後にイベント(お餅つき)が控えていたため4中競射はしませんでした。成績は次のとおり

①高橋香内6中②勅使川原守6中③福田昭二6中④河田茂康6中
⑤塩谷進一5中⑥荒木健司5中⑦山田昌枝5中⑧小泉貴英5中
⑨4中者6名



◆108射会 12月31日 前橋市民体育館弓道場

旧県弓道場を練習場としていた時代から続いている108射会。旧弓道場の取り壊しの際、継続が危ぶまれましたが、当時の支部役員や前橋市の協力により31日に道場を開放していただき、毎年開催されています。当日は前橋特有の赤城おろしの寒い日でしたがNHKのテレビ撮影(毎年、当日お昼のニュースで放送されています。)や読売新聞・上毛新聞の取材など忙しい1日を過ごしました。また、弓友からの沢山の差し入れて暖をとりながら、皆頑張りました。



成績は次のとおり 参加32名(内OP3名)

①山崎慎一郎86中②高橋香内76中③高橋ゆかり64中④上原篤彦60中⑤河村史紀59中
⑥名雪篤一57中⑦佐藤俊輔53中⑧関口辰徳52中⑨塩谷進一51中⑩鶴川祐一51中

◆初射会 1月13日 前橋市民体育館弓道場 参加者28名 10射

①高橋香内9中②森崇宣8中③春山正子7中④下田康弘6中⑤武藤美知子6中
⑥福田昭二6中⑦設楽優子6中⑧河田利恵6中⑨剣持正春6中⑩河田茂康5中

みなかみ町弓道場

◆百八射会 12月23日 参加者15名

①赤見晴夫 ②高橋 将 ③高橋勇吉 ④南雲 孝 ⑤原沢芳雄
⑥今泉和喜 ⑦池田友佳 ⑧渋谷たかの ⑨今泉卯重郎 ⑩後閑縫之介

◆初射会 1月13日 参加者17名

①原沢芳雄 ②原沢かおる ③渋谷たかの ④中塚和幸 ⑤赤見晴夫
⑥片桐典子・佐藤まつ子・志賀洋子



☆ 百八射会、雪が1mも降った時は除雪に半日もかかりましたが今年初射会も雪無しで行うことができました。

ねんりんピック茨城2007に参加して

報告 佐京 武数

厚生労働省主催で60才以上の高齢者の祭典「ねんりんピック」に一度出てみたいと思っているうちに、80才に手の届くところまできてしまった。群弓連の参加資格は、オリンピックではないが4地区持ち回りのため4年毎でないといられない、今年の中毛地区の割当てだが、今迄どおり予選をして選手を決めるのだからと、私の妹の夫の宮本茂と申し込んでみたところ希望者が定数しかいないというので参加させていただくことになりました。出発前に前橋市の保健福祉課より壮行金贈呈式に出てほしいとの連絡があつて、市役所に行ったところ前橋の参加者の中で私が最高齢ということで、選手代表として、高木市長の前で決意表明をさせられ、よし頑張らなければいけないという気持ちになりました。

メンバーは監督に高橋静夫さん、選手は真貝武志・千代子夫妻(前橋)、監督の奥様の瑞枝さん、宮本茂(高崎)と佐京の6人。11月10日バスで群馬から144名の各種団体の選手が水戸へ向いました。その日は水戸市内に泊まって、翌日に総合開会式が笠松運動公園で行われる予定でありましたが、生憎の雨(よく云われていることであるが、すべての行事は晴天によって80%は成功であると)本当に残念でした。県長寿社会づくり財団から支給されたカップを着て開会を待ったが、雨は止むことがなく、ついに入場行進が中止になってしまった。そんななかで式典は、舛添厚生労働大臣の祝辞等があるなかで続けられたが、1万人もの選手が控える場所もなく全員がカップを着て雨の中で弁当を食べました。

弓道会場は水戸堀原運動公園武道館、全国から64チームが参加しての武道館の控所はまさに壮観でありました。立派な弓道場での行射、若い頃はいろいろの大会に出たが、久しぶりの全国大会、あのなんともいえない独特の緊張感の中で、身の引き締まる貴重な体験を久しぶりに味わうことが出来ました。

5人で4つ矢2回の40射して「は分け」以上でないとい予選を通過出来ません。残念ながら13中で期待にそうすることが出来ずに誠に申し訳ありません。60才以上の大会とはいえ、高齢から弓道を始めた人にとって、なかなか全国大会に出る機会はありません。前橋から参加した真貝夫妻が、すばらしい体験をさせてもらったという感謝をこめての声を、参加者全員の気持ちとして、いたせりつくせりの対応をしてくださった行政当局と群弓連の皆様に厚くお礼を申し上げまして報告いたします。



東西学生弓道選抜対抗試合に出場して

高崎経済大学弓道部 齋藤美由貴

この度、第31回女子東西学生弓道選抜対抗試合に出場致しました、高崎経済大学弓道部の齋藤美由貴と申します。東西対抗戦は平成19年11月23日から25日に伊勢神宮弓道場で行われ、今回私は北海道から東京都までの東日本に属する大学の各地域から選ばれてきた選手と共に、東軍の選手の一人として試合に出場致しました。

私達弓道部は現役部員34名で、鈴木康弘先生の御指導の下、日々稽古に励んでおります。また、北関東リーグに所属し、平成19年度秋季リーグ戦では男子3位、女子2位という結果を収め、男女ともI部リーグに残留することができました。

東西対抗戦の競技方法は各軍13名から成り、そのうち選手を10名選びますが、選手全員を必ず一回出場させなければなりません。一人20射合計200射で勝敗が決まります。初めて会う選手達とチームを組み一丸となって戦うという事は普段は経験できない事で、とても新鮮でした。また、計り知れない緊張感、独特な雰囲気の中で弓を引くことができ、よりいっそう心身が鍛えられたように思います。また、試合を見ていて感じたことは、皆、1射1射丁寧に大切に引いていて、研ぎ澄まされた射を引いていた人が多かったように思います。私はそういった丁寧さや1射1射に対する集中や20射引く持続的な集中力が途中欠けてしまったように思いました。集中力を切らしたら負けだということを私自身が試合で引く中でも、また、試合を見ている中でも、改めて痛感させられました。そして、東西対抗戦に出場して改めて弓道の奥深さというものを感じ、同時にこの経験は私自身に勉強になる事ばかりでした。

結果は、東軍164中一西軍147中で勝利する事ができ、少しながらも勝利に貢献できた事に大変嬉しく思いました。結果としてここで満足することなく、この貴重な経験を今後活かしていくと共に、反省はこれからの自分への課題とし更に精進していきたいと思っています。そして再び伊勢の地で弓が引けるよう日々練習に励んでいきたいと思っています。

最後になりますが、今回多くの方々に応援して戴いた事に本当に感謝しています。私は弓道を始めて数年です。まだまだ弓道について知らない事ばかりで、経験の全てが勉強です。これから弓道についてもっと勉強し、知識を増やすとともに、射技、精神共に成長していけるよう努力していきたいと思っています。群馬県内に在る大学として、今後皆様にお会いする機会が多々あるかと思いますが、今後も高崎経済大学弓道部をどうぞ宜しくお願い致します。

平成20年

群馬県弓道連盟新年祝賀会

1月20日前橋市のウエルシティ前橋 葵の間で
開催されました。出席者60名、
須田定雄会長の挨拶から始まり、
顧問の中村紀雄様より祝辞をいただき
大島善春先生の乾杯で祝賀会が
開宴となりました。

それぞれ、集まった会員の方々の
話しも盛り上がり
二時間があっという間に過ぎ、
小又秀雄先生の一本締め
高橋静夫先生の閉会の言葉により、
祝賀会の閉会になりました。



広報部より

新しい年が始まりましたが、皆様、良いお年をお迎えですか？
本号は、ねんりんピックに出場した佐京先生の大会報告と
鈴木康弘先生の協力により東西学生弓道選抜対抗試合に出場し
立派な成績を修めた高崎経済大学の齋藤美由貴さんから大会記録
と感想文を頂きました。

自分たちが経験できない大会でも、それぞれ頑張っている姿が
目に浮かぶようなレポートです。ご協力ありがとうございました。
弓友の方々が各分野で頑張っている報告を掲載することが出来て
嬉しく思います。

今年も、いろいろな記事を、掲載していきたいと思っていますので
ご協力をお願いします。地域の記事や、楽しい行事などありましたら、
連絡をお願いします。今年も1年宜しく申し上げます。 広報部 一同
広報部会連絡先 メール k p g n x 3 8 5 @ y b b . n e . j p

FAX 027 (221) 6988 勅使川原宛